

デジタル管理

東京フアクトリー

(東京都文京区) 開発

のSaaS(サービス

としてのソフトウェア

型業務デジタル管

理ツール「Proce

ed(プロセス)ク

ラウド」が2月に始ま

る。工程写真を軸にし

た技術者向け管理ツ

ールで、サプライチエ

ン・工程の見える化で

進捗管理や情報共

有、技術指導を実施す

る。デジタル変革(D

X)が遅れる重工業を

東京フアクトリー

輝け! スタートアップ

60

重工業製造現場 DX推進

を後押しする。

遅れを痛感

池実社長は川崎重工

業で生産技術・海外外

注先の指導を経た後、

ボストンコンサルティ

ングでDX推進を経

験。その中で重工業製

造現場のデジタル化の

遅れを痛感した。一品

一様の製品で作業の標

準化が難しく、ワーク

を中心に人が動くセル

生産方式が多い重工業

では、製造の自動化が

進みづらい。さらに工



「コロナ禍での会社設立で苦労したが、製造業のDXに貢献したいと踏ん張った」と話す池社長

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

程・図面管理、人員のセスのデジタル化が優  
マネジメントでもデジタル化が遅れていると  
「現場では紙での工  
設備より、業務やプロ 工程や仕上りの写真

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

を残すが個々人の管理  
が多い」(池社長)と  
デジタル化・情報共有  
の遅れを指摘する。紙  
ベース・未共有ではデ  
ータが蓄積せず、情報  
が次に生かせないため  
業務効率や技能伝承に  
影響を与える。

工程写真共有

新サービスでは撮影

した工程写真をクラウ

ドで共有、スマートフ

ォンやパソコンで閲覧

し、2次利用や周知が

できる。工程と部材種

別で写真を分類し、表

現、船舶部品メー

カーやプラントエンジ

ニアリングの調達部門

で実証実験を行い、好

感触を得ている。現場

を熟知する池社長は

「製造業をエンパワ

形式で工程写真を表示したが、製造業のDX  
する。ある部材がどのに貢献したいと踏ん張  
工程まで進んでいるった」(同)と、移動  
か、視覚情報で工程の制限下での情報共有や  
進捗を管理し、情報のサプライチェーンの見  
蓄積と活用を促進する。える化で製造業に貢献  
する。

(市野創士)  
(木曜日に掲載)